

# 一般質問通告議員

平成27年第8回（12月）定例会

- 1 山 川 香 一
- 2 堀 川 義 徳
- 3 八 木 清 美
- 4 樗 沢 諭
- 5 宮 澤 一 照
- 6 阿 部 幸 夫
- 7 横 尾 祐 子
- 8 岩 崎 芳 昭
- 9 竹 内 真
- 10 渡 辺 幹 衛
- 11 霜 鳥 榮 之
- 12 高 田 保 則



# 一般質問通告要旨

平成27年第8回（12月）定例会

## 1 山 川 香 一

### 1 妙高市での児童虐待と対策について

- 1) 全国的に児童虐待の疑いがある事案が多くなっていると報じられており、市民の中に不安の声があるが、妙高市の実態はどのようなか。
- 2) 児童虐待に対する妙高市の取り組みはどのようなか。子どもを守るために関係機関との連携が重要であるが、どのような対策をとっているか。
- 3) 行政はより身近な立場から継続的な支援強化が必要とされ、特に職員のスキルアップと人員の充実がもとめられているが、妙高市の対応はどのようなか。
- 4) 児童虐待問題に詳しい大学教授は、「命の保護を急ぐのはもちろんだが、親への支援も欠かせない。さらに地域での子育て支援など虐待を起こさせない支援対策が重要だ。」と訴えている。妙高市の支援強化はどのようなか。

### 2 斐太歴史の里について

- 1) 斐太歴史の里の整備計画が重要であると考えるが、計画を策定する考えはあるか。
- 2) 斐太遺跡は「弥生の山城」とも呼ばれる2世紀後半から3世紀初頭の高地性の集落遺跡で大変貴重である。また近くの川辺には吹上遺跡や釜蓋遺跡もある。  
これらを市民の文化的知識向上のために活用してはどうか。また観光や小中学生の修学旅行に活用すべくアピールしてはどうか。
- 3) 鮫ヶ尾城は戦国時代で全国に名の知れる上杉謙信の春日山城を支える重要な城であった。上杉謙信没後、謙信の養子である上杉景勝と上杉景虎が上杉家の家督相続を争う「御館の乱」が起き、敗走する上杉景虎が当地で自害した。  
このような歴史的背景を活かすよう、一層の整備をして全国へ宣伝すべきである。そのための計画をつくり、地元の協力も得ながらアピールしていくべきと考えるがどうか。

### 3 妙高市の生活困窮者自立支援の取り組みについて

- 1) 妙高市は少子高齢化の中にあって、地域で孤立しがちな高齢者や生活困窮者が、地域のつながりを活用して自立して暮らせるような取り組みが重要であるが、自立支援活動の現状はどのようなか。また、生活困窮者自立相談支援事業について市民への周知は十分か。
- 2) 社会福祉協議会における相談事業実績、相談内訳と件数はどのようなか。

- 3) 大分県臼杵市の生活困窮者自立支援事業は社会福祉協議会に委託し、市と連携して取り組みをしている。支援内容は家計管理支援、就労準備支援、就労訓練等支援で、困りごとを聞いたうえで計画を考え、支援を決定し解決を目指しているが、妙高市でもこの取り組みを行う考えはあるか。

## 2 堀川義徳

### 1 妙高市における教育の基本理念について

教育委員会制度改革に伴い、当市でも本年10月より新教育長体制による教育委員会がスタートした。また、平成27年度から31年度までを計画期間とする「第Ⅲ期 妙高市総合教育基本計画」も始まり、市長の考えが今まで以上に教育現場にも反映する可能性がある。

今回の体制において、新教育長が今後の妙高市における教育理念を明確にする必要があると思われる。

- 1) 市長の掲げる「生命地域の創造」と教育の関連とは。
- 2) 市内小中学生の更なる学力向上に向けての具体策はどのようなか。
- 3) 平成29年度からの小中学校整備構想をどのように策定するか。

### 2 冬期間における生活の不安を解消するための調査・研究について

(株)東洋経済新報社による住みよさランキングで2年連続県内1位の妙高市ではあるが、冬期間において雪問題に不安を感じる市民が圧倒的である。

現在の機械除雪、消雪パイプ、流雪溝の克雪対策では限界がきていると思われる。移住、定住を促進し、雪による生活の不安を解消するため、産学官の連携などにより、調査・研究をし続けなければならないと思われるがその考えはあるか。

## 3 八木清美

### 1 防災対策の強化について

地震や津波、水害等の自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってくる。まさに東日本大震災や常総市の水害も想定外の大規模災害となった。

両災害では、避難指示の遅れや、庁舎や職員の被災で災害対策や必要な業務の機能が失われた。防災対策には、十分とか絶対大丈夫というものはないが、日頃の防災対策強化により被害の最小限化を図ることが重要と考える。

- 1) 災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者名簿の整備が進んでいるが、今後、地域でどのように活用されるか。
- 2) 災害時の避難場所となる施設の耐震化は進められているが、受電設備の耐震化や長周期地震動に弱いとされる受水槽の耐震化はどのようなか。

- 3) 多くの庁舎が被災し、機能不能に陥った東日本大震災の教訓から、政府は自治体に業務継続計画（BCP）の策定を促している。当市でもあらかじめ業務継続計画を策定し、市民サービスに反映させる必要があると考えるが、当市の現状と今後の対応はどうか。
- 4) 災害時の対応を迅速かつ円滑にするため、避難時に玄関に掲げる合図旗など独自で活用している地域もあるが、市全体ではどの程度普及しているか。  
また、この方法は地域の共助力をさらに強めるためにも推進していくべきと考えるがどうか。
- 5) ハザードマップについて、活用の状況と活用に対する工夫はどのようか。  
また、若者や地域住民の防災意識の高揚を図るためにも、このハザードマップを活用して避難経路等を確認するまち歩きも必要と考えるがどうか。
- 6) 災害時、特に平日日中の火災を最小限に食い止めるため、市では平成 25 年度から特別消防団員制度を導入した。より迅速に初動対応を行うため、この特別消防団員制度を拡大していく必要があると考えるがどうか。

## 2 住民参加の協働のまちづくり体制構築について

少子高齢化という時代の大きな変動期にあって、市は今までのような一律的な情報発信や受け身の体制では、各地域が本当に求めるものを把握することは難しい。

今まで市も地域も触れなかった本当の各地域の課題を掘り起こし、地域としての存亡そして妙高市の将来のために、まず地域と行政が課題等を共有できる体制を構築する必要がある。

- 1) 地域支援員と地域のこし協力隊員の役割と、現状の課題、今後の方針についてどのように考えているか。
- 2) 市民協働のまちづくりを実現するためには、市民との積極的なコミュニケーションが不可欠と認識している。市民の声を市政に反映する仕組みとして、市職員の地域担当職員制度を導入する必要があると考える。この制度の導入により、地域住民との関わりを通して、より地域の実情に合った施策の展開や、地域力を高める効果が期待され、さらには実質的な職員力アップにつながると考えるがどうか。
- 3) この制度の導入には、職員の負担軽減も考慮する必要がある。事務事業の見直しのほか、外部委託可能な業務については積極的に外部委託を行い、市の業務をスリム化して対応する必要があると考えるがどうか。

## 4 樗 沢 論

### 1 妙高市の地方創生政策について

- 1) 今回の地方創生以前から、過疎・人口減少対策に様々な名目で予算が配分、執行されたが、妙高市の年少人口と生産年齢人口の合計人数は、2005 年から 2015 年の 10 年間で 5590 人の減少が推計されており、継続的な活性化が図られず課題と感じるが、所見を伺う。

- 2) 「地方創生」の主役は国ではなく地方で、それも一人一人の住民や地域であり、仕掛けのできる「人材」を登用し、地域にも配置して「人」と「地域」が「つながり」「多様性」をもち動き出すことにより、真の地方創生が実現できると考える。  
人材の配置、市の独自性、住民主体の政策についてどのようなか。
- 3) 斐太北小と新井北小の6年生が、それぞれ新井商工会議所の支援を受けて市内観光名所めぐりを企画し、首都圏から北陸新幹線を使った1泊2日のモニターツアーを10月に実施した。妙高の未来を開く児童が地元での起業を検討・企画したことは、地方創生の先進的取り組みで高く評価する。  
今後、行政として支援し商品化が必要と考えるが、この事業の評価と今後の支援策はどのようなか。
- 4) 先駆的事业分「生命地域創造都市 妙高 地方創生方策事業」の「ビジット妙高 1,000万人構想」の実現により、地域の生活環境や地域経済の維持という地方創生の目的が達成できる可能性があり、官民が協働で取り組むことが必要と考える。  
1000万人の推移プロセスについて、道の駅等の観光入り込み数の現況値及び目標値と、雇用数の目標値はどのようなか。
- 5) 地方創生方策事業における妙高地域に合った「日本版CCRC」の取り組み方針はどのようなか。

## 2 プレミアム商品券発行について

- 1) プレミアム商品券は商工会議所が実施主体となり、市民向けに発売、市内の利用状況は車両関係、食料品、燃料まで幅広く、市民から好評である。  
さらなる経済効果を図るためにも、プレミアム率を20%とし、1万円で1万2000円分の買い物ができるプレミアム商品券を発行してはどうか。
- 2) 青森県は、国の「地方創生交付金を活用」し、1万円で1万3000円分の商品券を県こどもみらい課が担当で、「子育て支援プレミアム商品券」として12月に全県的に販売予定である。  
子育て世帯は、行政に経済的支援を求めている。  
多子世帯（中学生以下の子ども3人以上いる世帯）を対象に、1万2000円分のプレミアム商品券を7000円で（上限2セット）販売し子育てを支援してはどうか。

## 5 宮澤一照

### 1 今冬における通学路の安全対策について

今冬における通学路の安全対策の現状と対策はどのようなか。

### 2 地域創生における企業誘致の考え方について

- 1) 妙高市の特性に見合った産業での雇用創出と地場産業の拡充の考えは。

- 2) 地産地消エネルギーを利用したまちづくりによる雇用拡大の考えは。

## 6 阿部幸夫

### 1 地域限定旅行業について

- 1) 信越観光圏における観光圏内限定旅行業者代理業と着地型商品の現状はどのようなか。また、資格取得者をふやす考えはあるか。
- 2) 市観光協会はすでに第三種旅行業の資格を取得しているとのことだが、認知度が低い。これをよりアピールしていくべきではないか。また資格を取得したことによる影響はどのようなか。
- 3) 市と妙高市観光協会と各地区の観光協会とのつながりが不明瞭と感じる。連携や運営状況なども含め、はっきりとわかりやすくするべきではないか。

### 2 インバウンドの課題と対策について

- 1) 地区別のインバウンドの状況を把握しているか。国別の来訪者の状況はどのようなか。
- 2) これまでインバウンド施策に力を入れてきたが、インバウンドで外国人が増加すると、妙高高原駅前から宿泊施設までのタクシーの不足、夕食の場の確保、ATM不足などが問題となってくると考えるが、市として対策をどう考えるか。  
また、課題解決のためには観光協会のインバウンド担当者との連携が重要と考えるが、連携しての取り組みを考えているか。

## 7 横尾祐子

### 1 新井駅前、商店街の活性化について

新井駅前のビル撤退後の跡地や商店街などで空き地や空き店舗が多く、景観がさみしいと感じる。全国へ「妙高」の知名度をアップさせた今、目に入る景観は来訪者に良い印象を持たせるためにも重要であるが、花をおいたり電飾したりするなど、景観を充実させる取り組みをしてはどうか。また今後における空き地や空き店舗の活用の考えはどうか。

### 2 町内会長等の仕事の軽減について

少子化、高齢者社会の現状にあって、当市においても市民主体のまちづくりや地域コミュニティの相互扶助機能の強化に努めているところである。そのなかで町内会長、区長などが重要な役割となり活躍していただいているが、町内会長等の仕事の軽減にむけた改善の取り組みはどのようなか。

## 1 世界かんがい施設遺産「上江用水」の活用について

妙高市・上越市両市の農業用水「上江用水路（関川水系土地改良区が管理）」が、国際かんがい排水委員会より平成 27 年に県内で初めて世界かんがい施設遺産に認定された。

旧取水口付近の上江用水記念公園には、当時の名残である施設（石積みの取水堰と豪雨により増水した時ゲートから放流するコンクリートの「余水吐き」ゲート・堰）が、先人たちの偉業を偲ぶ記念碑とともに残されている。

先人の比類ない熱意と困難・苦勞を乗り越えての開削の歴史が世に明らかになり、関川水系土地改良区で実施した見学会には、150 人ほどの参加者があるなど、世界かんがい施設遺産に認定された用水路並びに記念公園内の構築物を妙高市の宝として、先人たちの偉業を後世に伝えるべく地域活性化や学校教育への活用が必要と考えるがどうか。

## 2 いじめ減少策の「褒める活動」推進について

「いじめ防止対策推進法」が平成 25 年 6 月に公布され、次代を担う子ども達が生きる力を育むために安心して楽しく学べるよう、関係機関・関係団体が連携し、未然防止等に積極的に取り組んでいる。

誰しも期待されたり、褒められたりすれば嬉しいとともに、自信が付いてもっと頑張ろうとか、更に努力する。これを子ども達に当てはめると、親や先生から期待されたり褒められたりする子どもは、自信が付いて成績が伸びるという効果があるとされている。

いじめ発生防止のため、子ども達がお互いを認めあう教育、先生が児童・生徒を認め褒める教育活動をはじめ、家庭や地域の大人が総ぐるみで「あいさつ運動」と連動した学校・家庭・地域一体で、「子どもを褒める取り組み」を推進するなど、「いじめの未然防止、いじめ一掃」につながる活動基盤の 1 つにすべきと考えるがどうか。

## 1 社会福祉協議会について

1) 「妙高市社会福祉協議会」という名称に対する認知度に比べ、その活動内容はよく知られていないと思うが、市としてはどのように考えているか。

2) 社会福祉協議会の会費について、毎年 7 月頃に 1 世帯あたり 1000 円を集めているが、町内会で集める方法や金額の適正性についてはどのように考えているか。また、世帯に対する一般会員の加入率はどの程度になっているか。

## 2 道路除雪に関して

雪国においては冬期間の除雪は、生活していく上でなくてはならない作業である。妙高市は、雪さえ降らなければ非常に住みやすく、美しいところであると考えている。



- 1) 先日、今冬の除雪計画の説明会があった。  
各除雪部長より除雪での不具合による苦情があると思うが、年間の件数と内容についてはどのようなか。
  - 2) 消雪パイプ設置工事については、その優先順位はどのような基準で決定しているか。
  - 3) 除雪道路で道路の構造的に不具合があるものについても、緊急時のことを考えると、順次改良していかななくてはならないと考える。この改良の平均的年間予算はどのようなか。また、施行箇所の優先順位の決め方はどうか。
- 3 妙高市における公共構造物のくい打ち問題について  
最近、横浜でマンションが傾斜し、基礎くい打ち工事でのデータ改ざんが発覚した問題について、全国に影響が広がっている。
- 1) 妙高市の過去に行ってきたくい打ち工事でのデータ改ざんの調査は行っているか。また、その結果はどのようなか。
  - 2) 建設中の妙高高原体育館の基礎工事では、どういう工法で行ったのか。また中間技術検査を行っていると思うが、不可視部分の基礎工事についてどういう状況であったのか。

## 10 渡辺幹衛

- 1 「安保関連法制」に対する市長の認識について  
安保関連法制が成立したが、成立後も国民の反対の声は大きくなっている。市長との親交もある阪田元内閣法制局長官等も批判している。共通する論点は「立憲主義の危機・権力の憲法破り批判」である。  
現時点での市長の認識はどのようなか。
- 2 TPP交渉の「大筋合意」に対する市長の認識について  
「大筋合意」への見解と妙高市の農業政策への影響は。
- 3 災害時における情報伝達手段について  
各種情報伝達手段の現状と役割をどのように考えるか。
- 4 契約におけるいくつかの課題について
  - 1) 仕様書は発注者の意図するものであり、成果品評価の基準である。「そえもの」として軽視されていないか。
  - 2) 小中学校の体育館照明のLED化の状況は。

3) 分離発注の基本的考え方は。

## 5 市役所職員の健康管理について

職員の健康管理の状況はどのようなか。

### 1 1 霜 鳥 榮 之

#### 1 ときめき鉄道と観光振興に関連して

- 1) 大型荷物を抱えた人や高齢者・乳母車等の対応で、誰でも気軽に利用できるバリアフリー化の対応についての考えはどうか。また、これから雪の時期にもなるが、簡易的なものでも高齢者や子どもにやさしい待合所の設置についてはどうか。
- 2) 利便性の問題や優等列車の扱いについて、今までのJR対応では新潟まで快速で行くことができた。しかし、えちごときめき鉄道株式会社が開業後は、新潟まで特急対応で倍以上の金額となった。また、新潟からの上越妙高駅止まりの特急しらゆきは乗り換えとなり待ち時間も長い。快速電車の車両も変わったことも含め、利便性も悪くなったが、この対処法についての考えはどうか。
- 3) 新井駅及び妙高高原駅の駅周辺を含むあり方の検討の進捗状況と、観光地の玄関口としての妙高高原駅前のあるべき姿をどの様に思い描いているか。
- 4) 定例記者会見では、上越妙高駅からスキー場への無料シャトルバスの運行を提案しているが、鉄道との関係はどの様に見ているか。

#### 2 特認校に関連して

市教育委員会は突然に新井南小学校を特認校にて存続の方針を提示した。

- 1) その後PTAや地元との関係はどのようなになっているか。
- 2) 特色ある学校づくりとはどのような事を考えているのか。
- 3) 各学校の規模的アンバランスをどのようにとらえているか。
- 4) 少子化の原点に立ってその対策についてはどのように考えているか。

### 1 2 高 田 保 則

#### 1 「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」通称マイナンバー法について

マイナンバー法に基づくマイナンバー制度にはいろいろな懸念が出ているが、市民に安心・安全を与え、スムーズな導入を図るのが行政の責務と考える。

- 1) マイナンバー法の概要はどのようなか。
- 2) 妙高市において、マイナンバー制度を総括する担当部署はどこか。
- 3) 広域連合、一部事務組合、社会福祉協議会等のセキュリティ対策はどのようなか。